

スマートフォン対応情報伝達システムの 本格導入に向けた職員対象の実証実験を実施

本年度、町が立教大学と進めてきた、防災行政無線にかわるインターネットラジオを基盤とした新たな情報伝達システムの導入に伴い、職員による最終的な実証実験を行いました。当日は、約60名の職員が参加し、「住民」「職員」「消防」等の様々な対象に分かれ、それぞれ確実にアプリが起動し、どのような災害情報が送られ、そして音声と併せて文字情報が伝わるか等、求める機能の実効性を確認しました。

このアプリは、地図とも連動して安否情報が確認でき、救助を要請した被災者の位置情報を表示するとともに、町内の浸水想定、ドローン等によるリアルな被災現場の画像も表示し、情報を共有することができます。

今回の実証実験により、使用機種により設定要領が異なるなど新たな課題も見つかり、本格導入に向け、より実効性を高めるべく調整していきます。



災害時に情報を送るアプリ



参加職員に説明する長坂教授



災害時に救助が必要かどうかの確認画面を操作する職員



VOICE
参加した職員の声
織原 智史

スマートフォンに対して苦手意識を持っている住民の方もいると思うので、このシステムが導入された際には住民の皆さんに説明できるようにしていきたいと思います。

4/24~26

～「道の駅さかい」×「道の駅ゆいゆい国頭」友好交流協定記念～ 世界自然遺産登録目前の沖縄・やんばるへ 境町民号がゆく！

4月24日から26日までの3日間にわたり、43名の参加のもと、境町民号沖縄を開催しました。今回の町民号では、交流特集ページでもご紹介した通り、沖縄最北端の「道の駅ゆいゆい国頭」と「道の駅さかい」が友好協定を締結をした記念として沖縄での実施となりました。

当日は、境古河バスターミナルから成田空港へ向かい、沖縄へ出発しました。初日は、国の天然記念物に指定されている「ヤンバルクイナ」が観察できる「ヤ

ンバルクイナ生態展示学習施設クイナの森」を訪れ、夜には参加者全員でビーチサイドバーベキューで新鮮な魚や肉を堪能しました。国頭村の知花靖副村長とゆいゆい国頭の金城茂駅長も参加され、町民の皆さんと親睦を深めながら楽しい時間を過ごしました。

最終日は首里城や水中クルーズなどで沖縄の海を楽しみ、沖縄の豊かな自然を満喫できた町民号となりました。道の駅の交流だけでなく、町としても、今後とも様々な形で交流を図っていききたいと思います。



沖縄の伝統舞踊を鑑賞しながら夕食を楽しむ様子



町民号参加者の集合写真



国の天然記念物指定のヤンバルクイナ



夜の懇親会で挨拶を述べる「道の駅ゆいゆい国頭」の金城駅長



友好交流協定を締結した「道の駅ゆいゆい国頭」を訪問



那覇岐頭「オルカ号」で水中クルーズへ向かう参加者の皆さん

4/21

「第16回菜の花フェスティバル」を開催

さかい利根川河川敷において、菜の花フェスティバル実行委員会（櫻井孝実行委員長）の主催により、今年で16回目となる「菜の花フェスティバル」が開催されました。当日は初夏を感じる快晴の中、特設ステージでフラダンスや、日本舞踊、今年度から町で英語を教えるフィリピン人講師の紹介などが行われました。

また、会場では昨年発売したふるさとクーポン券を購入した方への抽選くじ、卵無料配布、熱気球体験、馬車乗車体験、ミニSL、エアボートの試乗体験、セグウェイ体験、はしご車の搭乗体験、さかい4Hクラブによるトラクター遊覧などが行われました。

さらに、今年も境町商工会青年部による「圏央井グランプリ」が開催されたほか、「菜の花商店街」でも出店があり、会場は多くの来場者で賑わいました。



何が出るかな？ドキドキのふるさとクーポン抽選会



トラクター遊覧を楽しむ参加者



様々な出物で賑わうフェスティバルの様子



様々な丼が並んだ圏央井グランプリ



圏央井グランプリ優勝は道の駅さかいの新メニュー「常陸牛赤ワインしぐれ丼」

4/22

第5回さくらの森コンサート ～八重の桜に誘われて～

4月22日、さくらの森公園において、さくらの森コンサート実行委員会（中村仁実行委員長）主催により、第5回となるさくらの森コンサートが開催されました。

当日は町内外から多くの観客が訪れ、境町を愛するミュージシャンによるフォークソングやジャズ、サクソファンサンブル、ケーナなどの生演奏を満喫しました。

また、今年で2回目となるさくらの森マルシェでは、手作りパンやピザ、ジェラートなど、昨年をはるかに上回る約40店の販売ブースがあり、会場は多くの来場者で賑わいました。



快晴の中、演奏を楽しむ観客



素敵な演奏を披露した「ホワイトストーンズ」の皆さん



会場のサカイタチと触れ合う来場者